

「独立の子」たちが作るカザフ映画：

アディルハン・エルジャノフとエミル・バイガジンの映画は何を語るか

Кинематограф «Детей независимости»:

рассказывая о себе, что важного говорят о

Казахстане фильмы Адильхана Ержанова и
Эмира Байгазина?



現在、世界の映画祭などで注目されるカザフ映画を制作しているのは、ソ連崩壊・カザフスタン独立後、検閲とは無縁の環境で育った人々である。1990年代の「失われた世代」を取り上げるバイガジンや、汚職・社会的不公正の問題を扱うエルジャノフの映画に見られる大胆な現代社会批判について、中央アジアを代表する映画研究者、グルナラ・アビケエヴァが語る。映像の一部も上映。

日 時：2018年12月6日（木） 17時～18時40分

講演者：グルナラ・アビケエヴァ

(カザフ中央建築土木アカデミー教授、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター外国人研究員)

Гульнара Абикеева (КазГАСА / Университет Хоккайдо)

会 場：東京大学本郷キャンパス 法文1号館112番教室

使用言語：ロシア語（日本語通訳付き）

主 催：東京大学スラヴ語スラヴ文学研究室

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター

ACCESS MAP



連絡先：東京大学スラヴ語スラヴ文学研究室・楯岡 (slav.lecture@gmail.com)